

Title	表紙 目次
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1956
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.49, No.1 (1956. 1)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19560101--001

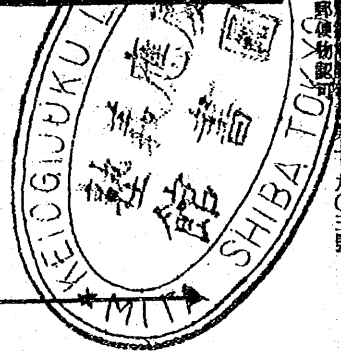
慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

三田學會雜誌

慶應義塾經濟學會

一月號



昭和二十五年十月二十四日

論 說

線形計畫論・Simplex Method……………福岡正夫(一)

日本綿業における中小機業の地位……………青沼吉松(七)

— 地方體制の崩壊と問屋制の再編成 —

チャーチスト運動の特質と

その歴史的意義について……………飯田鼎(三)

書評及び紹介

經濟學關係文献目錄

第四十九卷

第一號

書評及び紹介

今野源八郎著『道路交通政策』……………	増	井	健	一(三)
W. Hamburger, The Relation of Consumption to Wealth and Wage Rate. (Econometrica, Jan. 1955.)……………	鈴	木	諒	一(五)
有澤廣巳編『統計』(毎日ライブラリー)……………	佐	藤	保	(五)
平田富太郎著『社會政策論研究』……………	中	鉢	正	美(六)
石渡貞雄著『農民分解論』……………	常	盤	政	治(六)
鈴木讓一共著『損害保険經營論』……………	庭	田	範	秋(六)
市川久仁共著『損害保険經營論』……………	飯	田	鼎	(三)
家永三郎著『數奇なる思想家の生涯』……………	飯	田	鼎	(三)

線形計畫論・Simplex Method

福岡正夫

- はしがき
- 一、線形計畫とは
 - 二、線形計畫の解法 Simplex Method
 - (イ) degeneracy の生じない場合
 - (ロ) degeneracy の生ずる場合の處理法
 - (ハ) 要約
 - 三、計算過程の行列表示
- はしがき

比較的最近になつて、線形計畫 (Linear Programming) という分野がアメリカの一部の學者の關心をひき、わが國の人々も折にふれてその名前を耳にするようになった。この分野の研究がそもそもアメリカで盛になつた發端のひとつは、第二次大戰からその後にかけて、空軍省に屬する數學者のスタッフが行つた作戰もしくは國防のための「相互依存活動のプログラミング」にあるのだが、そのさいの中心的な學者の一人ダンチングの手になる數學的モデルがやが

線形計畫論・Simplex Method

て廣く知られるにおよんで、經濟學者の間でも、そういう軍事上の問題と、他方つとに行われていたコーンフィールド博士ティグラーの最適食費の問題やヒッチコックグループマンズの最適船舶輸送の問題などが全く理論様式を同じくすることが認識され、ひいてはワルラス・カッセルの生産理論、ラーナー・ランゲの資源配分理論、それからレオンティエフの産業連關論などの織りなす系譜に、このような理論様式による新しい生産のモデルを構想する動向が、謂うところの「活動分析」として大きく浮び上るにいたつたのである。かくして共通の意識に結ばれた經濟學者、統計學者、數學者および行政官が、二九四九年六月「線形計畫」の共通課題の下に、シカゴ、コウルス・コミッションの合同會議に參畫してこの分析の理論と實踐とを論じたとき、この動向は文字通り統一的に確立されたといつてよく、その會議に提出された論文を収録して公刊した『生産と配分の活動分析』はその一應の成果を示すものに他ならないのである。以來、線形計畫論はアメリカにおいてますます隆盛に向う趨勢にあり、首府ワシントンのペンタゴンで毎年催されるシンポジア